

安全データシート

(Safety Data Sheet)

作成日: 2023年2月24日 (第1版)

識別記号: FKEJ-J

1. 製品名および会社情報

製品名: FASTKIT エライザ Ver.Ⅲくるみ
会社情報: 日本ハム株式会社 / NH Foods Ltd.
大阪市北区梅田二丁目4番9号 プリーゼタワー
連絡先: 日本ハム株式会社 中央研究所 ヘルスサポート課
茨城県つくば市緑ヶ原三丁目3番地 TEL:029-847-7825 / FAX:029-848-1256
推奨用途: 試験研究用
使用上の制限: 上記用途以外には使用しない。

2. 危険有害性の要約

(1) 硫酸 ※本 SDS 上では、2.5%硫酸として記載

GHS 分類: 皮膚腐食性/刺激性: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分2 呼吸器系
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分2 呼吸器系

GHS ラベル:



注意喚起語: 危険
危険有害性情報: H315 - 皮膚刺激
H318 - 重篤な眼の損傷
H371 - 臓器の障害のおそれ: 呼吸器系
H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ: 呼吸器系

注意書き(安全対策):

- 取扱い後は顔や手などをよく洗うこと。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

注意書き(応急措置):

- ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ただちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗うこと。
- 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。
- 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

注意書き(保管): 施錠して保管すること。

注意書き(廃棄): 内容物/容器を都道府県又は市区町村の規則に従って廃棄すること。

その他: ほかの危険有害性: 情報なし

(2) ドデシル硫酸ナトリウム ※本 SDS 上では、95%ドデシル硫酸ナトリウムとして記載

GHS 分類: 急性毒性(経口): 区分4
急性毒性(経皮): 区分2
皮膚腐食性/刺激性: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分1 中枢神経系

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分2 肝臓
水生環境有害性(急性) : 区分1
水生環境有害性(慢性) : 区分3

GHS ラベル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H315 - 皮膚刺激
H318 - 重篤な眼の損傷
H302 - 飲み込むと有害
H310 - 皮膚に接触すると生命に危険
H400 - 水生生物に非常に強い毒性
H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害
H370 - 臓器の障害: 中枢神経系
H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ: 肝臓

注意書き(安全対策) :

- ・ 取扱い後は顔や手などをよく洗うこと。
- ・ この製品の使用するときに飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- ・ 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

注意書き(応急措置) :

- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
- ・ 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。もしコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗うこと。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
- ・ 直ちに医師に連絡すること。
- ・ 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- ・ 飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・ 口をすすぐこと。
- ・ 漏出物を回収すること。

注意書き(保管) :

- ・ 施錠して保管すること。

注意書き(廃棄) :

- ・ 内容物/容器を都道府県又は市区町村の規則に従って廃棄すること。

その他 : ほかの危険有害性 : 情報なし

3. 組成および成分情報

(1) 硫酸

化学物質・混合物の区別 : 化学物質
含有量 : 2.45%(反応停止液 12mL 中)
英名 : Sulfuric Acid
化学式 : H₂SO₄
分子量 : 98.08
化審法官報公示番号 : (1)-430
安衛法官報公示番号 : 公表
CAS 番号 : 7664-93-9

(2) ドデシル硫酸ナトリウム

化学物質・混合物の区別 : 化学物質
含有量 : 12% (抽出用試薬② 50mL 中)
英名 : Sodium Dodecyl Sulfate
化学式 : CH₃(CH₂)₁₁OSO₃Na

分子量：	288.38
化審法官報公示番号：	(2)-1679
安衛法官報公示番号：	公表
CAS 番号：	151-21-3

4. 応急措置

(1) 硫酸

吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：	すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合：	眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
飲み込んだ場合：	口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師に連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項：	個人用保護具を着用すること。

(2) ドデシル硫酸ナトリウム

吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：	すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合：	眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
飲み込んだ場合：	口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項：	個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

(1) 硫酸

適切な消火剤：	現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。
使ってはならない消火剤：	利用可能な情報はない
火災時の特有危険有害性：	熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
特有の消火方法：	利用可能な情報はない
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：	個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

(2) ドデシル硫酸ナトリウム

適切な消火剤：	水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO ₂)、泡、粉末消火剤、砂
使ってはならない消火剤：	利用可能な情報はない
火災時の特有危険有害性：	熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
特有の消火方法：	利用可能な情報はない
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：	個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

(1) 硫酸

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和： 利用可能な情報は無い

二次災害の防止策：

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

(2)ドデシル硫酸ナトリウム

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和： 利用可能な情報は無い

二次災害の防止策：

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

(1)硫酸

取り扱い

技術的対策：

アルカリ性物質との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項：

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項：

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件：

保管条件：

直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料：

ポリエチレン

混触禁止物質：

アルカリ性物質

(2)ドデシル硫酸ナトリウム

取り扱い

技術的対策：

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項：

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項：

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件：	
保管条件：	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
安全な容器包装材料：	ポリエチレン, ポリプロピレン
混触禁止物質：	強酸化剤

8. ばく露防止および保護措置

(1) 硫酸

設備対策：	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
ばく露限界：	日本産業衛生学会 1 mg/m ³ 管理濃度 作業環境評価基準 N/A 米国産業衛生専門家会議 (ACGIH) TWA 0.2mg/m ³
保護具：	呼吸器用保護具 酸性ガス用防毒マスク 手の保護具 不浸透性保護手袋 眼の保護具 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡) 皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣
適切な衛生対策：	産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

(2) ドデシル硫酸ナトリウム

設備対策：	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
ばく露限界：	この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含有していない。
保護具：	呼吸器用保護具 防塵マスク 手の保護具 保護手袋 眼の保護具 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡) 皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣
適切な衛生対策：	産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的および化学的性質

(1) 硫酸

物理状態：	色 無色 濁度 透明 性状 液体
臭い：	無臭
融点/凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲：	データなし
可燃性：	データなし
蒸発速度：	データなし
燃焼性(固体、ガス)：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：	上限 :データなし 下限 :データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	強酸性 pH=0.3
粘度(粘性率)：	データなし
動粘性率：	データなし

溶解度 :	水、エタノール:混和する。
n-オクタノール/水分配係数 :	データなし
蒸気圧 :	データなし
密度及び/又は相対密度 :	1.010
相対ガス密度 :	データなし
粒子特性 :	データなし

(2)ドデシル硫酸ナトリウム

物理状態 :	色 白色 性状 結晶～結晶性粉末
臭い :	特異臭
融点/凝固点 :	204 - 207°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲 :	データなし
可燃性 :	データなし
蒸発速度 :	データなし
燃焼性(固体、ガス) :	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 :	上限 :データなし 下限 :データなし
引火点 :	データなし
自然発火点 :	データなし
分解温度 :	データなし
pH :	5.0 - 8.0 (10g/L, 25°C)
粘度(粘性率) :	データなし
動粘性率 :	データなし
溶解度 :	水、熱 エタノール: 溶けやすい。
n-オクタノール/水分配係数 :	データなし
蒸気圧 :	データなし
密度及び/又は相対密度 :	データなし
相対ガス密度 :	データなし
粒子特性 :	データなし

10. 安定性および反応性

(1)硫酸

安定性 :	反応性 :データなし 化学的安定性 :推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性 :	通常の処理ではなし。
避けるべき条件 :	高温と直射日光
混触危険物質 :	アルカリ性物質
危険有害な分解生成物 :	硫黄酸化物(SO _x)

(2)ドデシル硫酸ナトリウム

安定性 :	反応性 :データなし 化学的安定性 :推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性 :	通常の処理ではなし
避けるべき条件 :	高温と直射日光
混触危険物質 :	強酸化剤
危険有害な分解生成物 :	一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素(CO ₂), 硫黄化合物 (SO _x)

11. 有害性情報

(1) 硫酸

急性毒性

経口 LD50 :	2,140 mg/kg (rat)
経皮 LD50 :	N/A
吸入 LC50 :	347ppm (rat) 4h
分類根拠(経口) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(経皮) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入-ガス) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入-蒸気) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入-粉塵) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入毒性-ミスト) :	NITE の GHS 分類に基づく。

皮膚腐食性/刺激性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

生殖細胞変異原性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

発がん性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

IARC : Group 1

米国産業衛生専門家会議
(ACGIH) : A2

生殖毒性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

誤えん有害性

分類根拠 : NITE の GHS 分類に基づく。

(2) ドデシル硫酸ナトリウム

急性毒性

経口 LD50 :	1,200 mg/kg (rat)
経皮 LD50 :	200 mg/kg (rabbit)
吸入 LC50 :	>3,900 mg/m ³ (rat) 1h
分類根拠(経口) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(経皮) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入-ガス) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入-蒸気) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入-粉塵) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠(吸入毒性-ミスト) :	NITE の GHS 分類に基づく。

皮膚腐食性/刺激性

分類根拠 :	NITE の GHS 分類に基づく。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	
分類根拠 :	NITE の GHS 分類に基づく。
呼吸器感作性または皮膚感作性	
分類根拠 :	NITE の GHS 分類に基づく。
生殖細胞変異原性	
分類根拠 :	NITE の GHS 分類に基づく。
発がん性	
分類根拠 :	NITE の GHS 分類に基づく。
生殖毒性	
分類根拠 :	NITE の GHS 分類に基づく。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	
分類根拠 :	NITE の GHS 分類に基づく。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	
分類根拠 :	NITE の GHS 分類に基づく。
誤えん有害性	
分類根拠 :	NITE の GHS 分類に基づく。

12. 環境影響情報

(1) 硫酸

生態毒性

藻類 /水生植物 :	N/A
魚 :	LC50: <i>Lepomis macrochirus</i> 16-28 mg/L 96h
甲殻類 :	LC50: <i>Daphnia magna</i> 29 mg/L 24 h

水生環境有害性

分類根拠 (短期(急性)) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠 (長期(慢性)) :	NITE の GHS 分類に基づく。

残留性・分解性 :	利用可能な情報はない
生体蓄積性 :	利用可能な情報はない
土壤中の移動性 :	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性 :	利用可能な情報はない

(2) ドデシル硫酸ナトリウム

生態毒性

藻類 /水生植物 :	EC50: <i>Desmodesmus subspicatus</i> 53 mg/L 72 h
魚 :	LC50: <i>Oncorhynchus mykiss</i> 4.3 - 8.5 mg/L 96 h
甲殻類 :	LC50: <i>Acartia tonsa</i> 0.12 mg/L 96 h

水生環境有害性

分類根拠 (短期(急性)) :	NITE の GHS 分類に基づく。
分類根拠 (長期(慢性)) :	NITE の GHS 分類に基づく。

残留性・分解性 :	利用可能な情報はない
生体蓄積性 :	利用可能な情報はない
土壤中の移動性 :	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性 :	利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

(1) 硫酸

残余廃棄物 : 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器および包装 : 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

(2) ドデシル硫酸ナトリウム

残余廃棄物 : 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器および包装 : 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

(1) 硫酸

ADR/RID (陸上)

国連番号 : UN2796
品名 : 硫酸
国連分類 : 8
副次危険性 :
容器等級 : II
海洋汚染物質 : 非該当

IMDG (海上)

国連番号 : UN2796
品名 : 硫酸
国連分類 : 8
副次危険性 :
容器等級 : II
海洋汚染物質 : 非該当
MARPOL73/78 やIBCコード
に則ったバルクの輸送 利用可能な情報はない

IATA (航空)

国連番号 : UN2796
品名 : 硫酸
国連分類 : 8
副次危険性 :
容器等級 : II
環境有害物質 : 非該当

(2) ドデシル硫酸ナトリウム

ADR/RID (陸上)

国連番号 : UN2811
品名 : 毒性固体(有機物)、n.o.s (Sodium Dodecyl Sulfate)
国連分類 : 6.1
副次危険性 :
容器等級 : II
海洋汚染物質 : 該当

IMDG (海上)

国連番号 : UN2811
品名 : 毒性固体(有機物)、n.o.s (Sodium Dodecyl Sulfate)
国連分類 : 6.1
副次危険性 :

容器等級 :	II
海洋汚染物質 :	該当
MARPOL73/78 やIBCコード に則ったバルクの輸送	利用可能な情報はない
IATA (航空)	
国連番号 :	UN2811
品名 :	毒性固体(有機物)、n.o.s (Sodium Dodecyl Sulfate)
国連分類 :	6.1
副次危険性 :	
容器等級 :	II
環境有害物質 :	該当

15. 適用法令

(1) 硫酸

国際インベントリー

EINECS/ELINCS :	-
TSCA :	-

国内法規

消防法 :	非該当
毒物および劇物取締法 :	非該当
労働安全衛生法 :	<ul style="list-style-type: none"> 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法57条の2、施行令第18条の2別表第9)No. 613 特定化学物質第3類物質 (特定化学物質障害予防規則第2条第1項第6号)
危険物船舶運送及び貯蔵規則 :	腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法 :	腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
海洋汚染防止法 :	施行令別表第1 有害液体物質 Y 類物質
化学物質排出把握管理促進法 :	非該当
水質汚濁防止法 :	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
輸出貿易管理令 :	非該当
大気汚染防止法 :	特定物質

(2) ドデシル硫酸ナトリウム

国際インベントリー

EINECS/ELINCS :	収載
TSCA :	収載

国内法規

消防法 :	非該当
毒物および劇物取締法 :	非該当
労働安全衛生法 :	非該当
化審法 :	優先評価化学物質(法第2条第5項)
危険物船舶運送及び貯蔵規則 :	毒物類・毒物(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法 :	毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)
化学物質排出把握管理促進法 :	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
第1種 - No. :	275
改正化学物質排出把握管理促進法 : (令和5年4月1日より)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

16. その他情報

引用文献および参照ホームページ等

- ・ NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
- ・ IATA 危険物規則書
- ・ RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
- ・ 中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報
- ・ 有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
- ・ 化学大辞典 共立出版
等

免責事項

- ・ この SDS は JIS Z 7253:2019 に準拠しております。
- ・ 本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載したものであり、品質保証書、規格書ではありません。
- ・ 記載内容は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。
- ・ 改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。
- ・ 安全な取扱い等に関する情報提供を目的とした参考資料であり、物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。
- ・ 全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。